

[成果情報名]新たに登録される中晩生カンキツ「あすみ」の果実特性

[要約]新たに登録される中晩生カンキツ「あすみ」は、1月下旬に糖度 15 程度となりこれまでの品種にない高糖度果実が生産できる。可食期は2月以降で極めて食味に優れた施設栽培向きの品種である。

[キーワード]中晩生カンキツ、あすみ、高糖度、果皮色、施設栽培

[担当]長崎県農林技術開発センター・果樹研究部門・カンキツ研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分]果樹

[分類]指導

[作成年度]2012 年度

[背景・ねらい]

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成され、これまでにない高糖度果実生産ができ、施設栽培において新たな需要が期待される中晩生カンキツ「あすみ」の果実形質を調査し、本県への適応性を明らかにする。

「あすみ」の来歴

品種名	交配組み合わせ
あすみ	♀ × ♂ 興津46号 × はるみ (スイートスプリング×トロビタオレンジ)

[成果の内容・特徴]

1. 果実重は、施設栽培で 200 g 程度、果形指数 110～130 程度の扁球形である (表 1、写真 1)。
2. 露地栽培では、果皮は滑らかで浮皮の発生はないが、施設栽培では軽度の浮き皮が発生することがある。果皮色は、9～10 程度で橙～やや赤み橙色を呈する (表 1、表 2、写真 1、写真 2)。
3. 露地栽培では果肉はやや軟らかいが、施設栽培ではさらに軟らかくなる。(表 2)。
4. 1月下旬には糖度 15 程度、2月下旬にはクエン酸含量 1.0 (g/100m l) 程度になることから2月以降が可食期となる(表 1)。
5. 露地栽培においても高糖度果実となるが、果皮の着色が抑制されることから、施設栽培において特性が発揮される品種である(表 1、表 2)。
6. 種子は比較的少ない (表 1、写真 1)。
7. 着花量はやや少ない (表 3)。

[成果の活用面・留意点]

1. 樹勢はやや強く若樹齢時は枝の伸長が旺盛で、5 cm以上の長いトゲが発生する。樹齢が進むとトゲは短くなる。
2. 水分ストレスを強く付与すると、果実にクリーニングが発生し皮が剥きづらくなるので、土壤が過乾燥とならないように管理する。
3. 本品種は、2011 年 12 月 7 日に品種登録出願され、2012 年 3 月 16 日に品種登録出願公表されている。

[具体的データ]

表1 「あすみ」の果実特性(1)

年度	調査月日	作型	果形指数	果実重 (g)	着色歩合	果皮色 ^z	果皮厚 (mm)	果肉歩合 (%)	果肉色 ^z	含核程度 ^y		糖度 (g/100ml)	酸含量
										完全	不完全		
2010	12月20日	露地	131	199	7.6	8.0	2.4	85.0	7.0	0.6	1.0	14.8	1.24
		ハウス ^x	125	202	8.4	9.0	2.1	87.4	8.0	0.6	0.0	15.9	1.33
	1月19日	露地	128	207	8.0	8.4	2.2	86.7	8.8	1.0	1.0	14.8	1.22
		ハウス	121	207	8.8	9.0	2.3	84.9	8.2	0.0	0.0	16.0	1.29
	2月23日	露地	126	212	9.2	8.6	2.0	78.8	9.0	0.4	3.0	15.6	1.09
		ハウス	121	173	9.8	8.8	2.1	85.3	9.0	0.2	0.6	17.4	1.07
2011	12月23日	露地	131	177	6.4	7.0	2.2	86.4	8.0	1.2	1.0	15.0	1.24
		ハウス	116	220	7.0	7.8	2.3	87.2	7.8	0.4	0.6	14.0	1.33
	1月20日	露地	129	152	7.6	8.0	2.3	86.0	9.0	1.6	1.0	15.4	1.18
		ハウス	109	215	8.0	8.8	2.2	85.1	9.0	1.0	0.8	14.9	1.12
	2月24日	露地	130	140	9.2	9.0	2.1	84.1	9.0	1.2	1.0	17.5	0.88
		ハウス	115	256	9.6	9.6	3.0	83.9	8.8	0.6	0.8	15.1	0.94
2012	1月18日	露地	123	156	6.2	9.2	2.3	85.3	9.0	0.8	1.2	13.5	0.99
		ハウス	122	190	9.8	10.6	1.5	86.4	10.0	1.0	0.2	14.8	1.20
	2月20日	露地	122	149	6.0	8.6	2.1	85.1	9.2	1.2	0.6	15.2	0.98
		ハウス	119	157	10.2	10.2	2.2	83.8	10.0	1.0	0.6	15.8	1.17

^z 果皮色、果肉色はオレンジ色系カラーチャート値

^y 種子数は、階級別に調査 0: 無種子 1: 5粒以下 2: 6~10粒 3: 11粒以上

^x ハウスは、無加温で管理

表2 「あすみ」の果実特性(2)

作型	果皮				じょうのう		肉質	香り
	色	粗滑	剥皮の難易	浮き皮	分離の難易	硬さ		
露地	黄橙~橙	やや滑~滑	やや易	無	易	やや軟	やや軟	中
ハウス	橙~やや赤味橙	中~やや滑	やや易	無~軽	易	やや軟	軟	中

表3 「あすみ」の着花・新しよの発生

年度	作型	着花量	新しよ量
2010	露地	1	2
	ハウス	1	2
2011	露地	2	2
	ハウス	2	3
2012	露地	2	3
	ハウス	2	3

注) 着花・新しよ量は5段階達観



写真1 「あすみ」の着果状態



写真2 「あすみ」の果実断面

[その他]

研究課題名：気候温暖化に対応したカンキツ栽培技術の開発

予算区分：県単

研究期間：2009~2013年度

研究担当者：古川 忠